

令和4年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	3905	領域略称名	性スペクトラム
研究領域名	性スペクトラム - 連続する表現型としての雌雄		
領域代表者名 (所属等)	立花 誠 (大阪大学・大学院生命機能研究科・教授)		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、雌雄を二項対立的な表現型として捉えてきた従来知見を覆し、遺伝・内分泌・環境の3要因により変化する連続した表現型として性を捉える新たな概念「性スペクトラム」を構築した。領域代表者のリーダーシップの下、計画研究と公募研究が一体となって、性スペクトラムの遺伝的基盤の成立機構、内分泌要因による細胞・器官の相互の性スペクトラムの同調機構、さらに環境要因による性スペクトラムの制御機構を明らかにした成果は、多数の注目すべき論文発表に結びついており、学術的成果は十分な評価に値する。さらに、ヒト、マウスや魚類などの脊椎動物に加えて、複数種類の無脊椎動物を含む多様な性スペクトラム研究を展開することで、動物界全体の性を俯瞰する研究に発展したことは特筆すべき点として挙げられる。

今後は、我が国の強みである生殖腺オルガノイドなどの革新的技術を取り入れ、性スペクトラムの概念を基盤とした性現象メカニズムの動物種横断的な統一的理解へと研究を大きく発展させ、国際的に性研究を更にリードすることが期待される。